



宝塚せいの里だより

やよいの宙 vol.17

2019.1

発行/社会福祉法人 聖隷福祉事業団 宝塚せいの里

〒665-0826 兵庫県宝塚市弥生町2-2
TEL.0797-85-3656 FAX.0797-85-3562

新年明けましておめでとうございます

今年もよろしくお祈りします

結いホーム宝塚5周年行事

軽そうに
持っていますが、
30kgあります。

5周年の記念イベントとして、
まぐろ解体ショーと、
ボランティアさんをお招きし
盛大に行いました。

皆さんに
おいしく食べて
いただきました。

結いホーム宝塚
5周年
おめでとう。

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、宝塚せいの里の運営に際し、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、皆さまのおかげをもちまして、昨年は結いホーム宝塚が開設5周年を迎えることができました。重ねてお礼申し上げます。
昨年は、6年に一度の介護報酬、診療報酬の同時改定が行われ、これからの社会保障制度の方向性が明確に示された年でした。どこに住んでも適切な医療・介護サービスを受けられ目なく受けることが出来るよう、地域包括ケアシステムの推進が図られるとともに、介護ロボット・ICTの活用をはじめとした、多様な人材の確保と生産性の向上などが掲げられました。人材の確保が困難になっている昨今、介護ロボットや新しい技術を導入し、生産性の向上、効率化を進めていくことは急務ではありますが、福祉の仕事はあくまでも人が中心です。ご利用者と職員の信頼関係が構築されている中で使われて初めて、その効果が発揮されるものと考えます。わたしたちは、福祉職として高度な専門性とご利用者お一人おひとりの想いに添った質の高いサービスの提供を行ってまいります。本年もご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



結いホーム宝塚園長

園長 北村 典嗣

年頭のご挨拶

今月のいきいきさん

藤田 良子さん(宝塚すみれ栄光園 2階)



山口県は下関市で生まれ育ちました。幼いころは、羽子板やおまごなどをして遊んでいたそうです。結婚を機に関西へ出て来られ、家事や子育てに加え、長年茶道を楽しんでいました。腕前を尋ねると「上手じゃないよ。上手でも上手って言わないけど。」と笑顔で話されました。膝を悪くしてからは、編み物や貼り絵、塗り絵や脳トレ等で時間を過ごしていました。ひ孫が会いに来ると、希望する絵を描いてあげたりするなど、ひ孫さまの笑顔を見ることを楽しみにしていたそうです。身体を悪くし、一時は食事でも自分で摂れない日々を過ごしました。しかし、持ち前の明るさと気力で回復し、今では食事だけではなく、車椅子も自分で動かせるようになりました。甘いものが大好きで、外出先ではコーヒーとケーキをベロリ。日中はTVを観たり、愛読書である『サザエさん』を読んで過ごしています。来年の3月で100歳を迎えます。お話を伺い、自分のペースで生活することの大切さを感じました。自分のペースで生活することが長生きの秘訣かもしれませんね。





愛読書(一部)

私の故郷紹介

結いホーム宝塚3階 和仁

私の故郷は石川県です。

石川県といえば、新幹線の開通があったかと思えます。それ以外にも、金箔の生産は99%を占めています。

ここまではある程度の方はご存知かと思えます。何よりすごいのは兼六園。三大庭園の一つであるから?いいえ、違います。もちろん兼六園もすごいです。兼六園には日本最古の噴水があるのです。約176年前に作られた噴水が今も健在です。ぜひ石川県に観光に行った際はぜひ見に行ってみてください。



俳句・川柳コーナー

投句ありがとうございました。

- 内祝(うちいわい) 色珍(いろあざ)し 秋扇(あきあふぎ)
- 光(ひかり)るとも 彩(いろ)放(はな)つとも 秋(あき)の湖(うみ)
- 落(お)ちてなほ 紅(べに)たもつ 萩(はぎ)椿(つばき)の花(はな)とよまじと 君(きみ)によりまふ
- 清水(しみず) 万里(ばんり)
- 中山(なかやま) 照子(てるこ)
- 渡部(わたべ) 米子(よねこ)
- 越(こ)し方(かた)と 語(かた)る八十路(やそぢ)や 秋灯(あきとう)下(くだ)
- 諏訪(すずま) 梯子(はしご)
- 虫(むし)の音(ね)に 耳(みみ)そばたてる 静(しず)かな夜(よ)
- 辻本(つじもと) 義春(よしかる)
- 銀杏(いんぎょう)の黄(きいろ) 楓(かえで)の赤(あか)に 秋深(あきふか)み 荻面(あしづら)の森(もり)に 響(こ)く瀧(たき)の音(ね)(和歌)
- 日輪(ひろり)と 追(お)いし向(むか)ひ葵(あひま) 夜(よ)もすから 朝(あ)焼(や)け雲(うみ)の 夢(ゆめ)と見るかな(和歌)
- 畑井(はたけい) 博(ひろ)
- 盲目(めくら)の 友(とも)より明(あ)るき 初電(はつでん)話(わ)
- 白寿(はくじゆ)なる 寿(じゆ)一文字(いちもんじ)の 賀状(がじやう)来る
- 石谷(いしがや) むら子(こ)

※誌面に掲載している写真は、予めご本人・ご家族の承諾を得ています。(南クルーズ制作)

次号は2019年4月頃発行予定です

5/1~10/31

新 人 職 員 紹 介

どうぞよろしく
お願いいたします



所 属
ケアハウス宝塚
看護師

名 前
皆月 直美
(ミナツキ ナオミ)

自己PR
異動でこちらに勤務となりました。入居者様の思いに寄り添える看護を目標に頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



所 属
運営管理課
事務員

名 前
岸本 尚子
(キシモト ナオコ)

自己PR
お笑いとお動物が大好きです。よろしくお願ひいたします。



所 属
すみれ栄光園 2階
介護員

名 前
長野 智彦
(ナガノ トモヒコ)

自己PR
宝塚エデンの園から異動してきました。みなさんと楽しく過ごせたらうれしく思います。宜しくお願い致します。



所 属
すみれ栄光園 4階
介護員

名 前
西 ひかり
(ニシ ヒカリ)

自己PR
9月より入職しました皆さまと楽しく過ごせたらうれしく思います。宜しくお願い致します。



所 属
すみれ栄光園 4階
介護員

名 前
メンドザ メリ
ミシェル マーコス

自己PR
花屋敷栄光園から異動しましたミチと申します。利用者さんの笑顔が好きです。これからモスミの皆さんと一緒に頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

【職場紹介】食事サービス係

皆様こんにちは。

宝塚せいの里は3つの施設で構成されており、栄養士は施設の特徴に合わせて取り組んでいます。結いホームではごちそうクラブで普段は提供できないお献立を考えて楽しく作るお手伝いをします。ケアハウスでは食事のイベントでのお手伝い、すみれ栄光園では、飲み込むことが難しくなってきた方に対してお食事の考案等々。皆様全員が満足のいく食事を提供することはなかなか難しく、お食事に対するご意見をお持ちの方も多いため、厨房の給食会社「LEOC」と協力し、日々おいしく栄養のあるお食事をお届けできますよう今後とも努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



結いホームのごちそうクラブ運営



すみれ栄光園での嚥下評価



只今猛修行中の元氣な新人です

宝塚すみれ栄光園が『地域サポート施設』の認定を受けました

この制度は今年度、地域貢献活動を行う兵庫県内の特別養護老人ホーム等に対して兵庫県知事認定制度として、10月1日に新たに創設されました。地域サロンへの支援活動、高齢化が進む公園地での活動が評価され、認定を受けました。



今後も、宝塚すみれ栄光園だけでなく、宝塚せいの里として、地域に根ざし、自治会や地域コミュニティ、社会福祉協議会と連携・協働し、住民に身近で信頼される施設となるよう積極的な地域貢献活動を行ってまいります。



3階フロアが設えコンテスト、園内学会の最優秀賞ダブル受賞

今年で第2回目となる設えコンテストで3階フロアが最優秀賞をいただきました。その内容は各居室の入り口への設えを実施しました。ご入居者お一人お一人に飾り付ける造花を選んで頂くことで、職員もご入居者も一緒になって楽しんで取り組むことが出来ました。今後はご入居者の思い出の品や写真等を飾ったりして、ご家族やご入居者の皆様と共に楽しんでいけるようなフロア作りを目指したいと思ひます。



設えコンテスト優秀賞

また、園内学会では医療職との連携をした口腔ケアの取組を発表し、こちらも最優秀賞をいただきました。この研究、発表を生かし、ご入居者の生活がよりよくなるように考えています。



園内学会最優秀賞受賞

設えコンテスト2位受賞、ケアハウス宝塚6階フロア

ケアハウス宝塚6階職場長の隅屋です。

10月に設えコンテストが開催され、決められたテーマにそって各フロアが、色々な工夫をして設えに取り組みました。

今回のテーマは「ごく当たり前の暮らし」ということで6Fではお風呂場に焦点をあてました。ご入居者の方々が若い頃は今より銭湯に入ることが多かったと思ひます。銭湯といえばと考えるとやはり富士山の絵ではないかと私たちは考え、ご入居者にも手伝って頂き富士山を作成することにしました。小さなカラーのタイルを使い、一生懸命貼って出来上がった作品にご入居者、職員全員感動しました。

結果は惜しくも2位でしたが、ご入居者からは「素敵ねー。」などの意見が聞かれ入浴の時間が楽しかったとの声も頂きました。

これからもご入居者が快適に暮らしていける環境作りをしていきます。



認知症予防教室を開催

11月20日(火)に認知症予防ゲームの会の「そよ風」様をお招きして、認知症予防教室を開催致しました。

当日はデイサービスのご入居者、ケアハウスのご入居者、地域住民の皆様など25名のご参加を頂きました。

認知症についての講義では、参加者の皆様は熱心に耳を傾けられ、質問も多く聞かれました。認知症予防ゲームでは「そよ風」様と参加者の皆様、スタッフ全員の参加のもと、予防ゲームに興じ笑いと笑顔が絶えない時間を過ごしました。

